

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

放課後等デイサービスはびねすアイ

記入年月日: 令和7年3月11日

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			
	②	職員の配置数は適切であるか。	6			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	5	1		現在、バリアフリーの配慮が必要な児童・生徒はいないため、今後配慮が必要です。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6			
	⑥	この自己評価票の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		実施している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6			定期的に外部研修に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			所内会議や必要により関係機関と連携して個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1		標準化されたアセスメントツールを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			季節ごとの取り組みを考えています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		毎週の取り組みを考えながら支援しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか。	5	1		休日、長期休暇には、体験を主にできる活動の計画を実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			個々の特性に合わせた計画の作成を心掛けています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	1		支援開始前に前日の振り返りなどを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		当日中または時間が無いときは、翌日の午前中までに振り返り等を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		記録の書き方について、職員間で共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	6			定期的なモニタリング時に、職員・保護者の意見を取り入れ、見直しの必要性を判断しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5	1		弊社の児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6			各学校の年間計画、行事予定の把握に心掛けています。学校、保護者とも連携が取れるように心掛けています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	5	1		現在、該当する児童・生徒の利用はありません。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		必要により実施。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		現在、該当する児童・生徒の利用はありません。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	2		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	5	1		高校生ボランティアと定期的に交流を実施。
	㉔	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		定期的な協議会に参加しています。
	㉕	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時やラインにて情報共有を実施。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	5	1		各家庭の状況に合わせて対応をしています。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	3	1	父母の会については、各家庭の個人情報のとらえ方もあるので、開催の希望がありましたら、検討して実施を考えています。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			苦情については、適切に対応できるよう、日々意識して活動しています。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			ホームページを活用して、情報発信を密に行っている。
	㉜	個人情報に十分注意しているか。	6			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
非常時の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	1		各種マニュアルを常に把握できる場所に保管し、定期的に見直し等行っています。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			定期的に防止訓練を計画しています。避難場所の提示について、わかりやすい場所を課題と考えています。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			職員間で、虐待について共通認識が出来るよう取り組んでいます。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束について、共通認識を図り、保護者等に事前に説明するよう心がけています。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		現在、該当の児童・生徒の利用はありませんが、常にアレルギーについては意識して支援しています。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	6			